

結城七社(ユウキシチシャ)と所在地

『結城御代記』によれば、南北朝時代、結城家7代、結城直朝公は、南朝方の拠点であった関城を攻略するにあたって北斗七星に必勝を祈願、見事勝利した。直朝公は、1343（康永2）年5月10日、結城七社を定めたとされている。

結城七社は牛頭天王（須賀神社＝現健田須賀神社）、住吉大明神（現住吉神社）、大桑大明神（現大桑神社）、以上3社が結城市内にある。高椅大明神(現高椅神社)、八幡宮(現八幡神社)、大神宮(現神明宮)、鷲宮大明神(現日鷲神社)の4社は当時、結城家の領内だった栃木県小山市にある。

その後、近代に入ると結城七社として、大神宮と八幡宮にかわり健田神社と神明神社が入った。近年に至っても、恵方参りといって、七社の内でその年の正月に吉方にあたる神社に初詣する習慣が残っていた。



結城七社

神社名	所在地	中世	近世
① 牛頭天王(ゴズテンノウ)(健田須賀神社)	結城市結城(浦町)195	○	○
② 住吉大明神(スミヤダミョウジン)(住吉神社)	結城市結城(西ノ宮)1411	○	○
③ 大桑大明神(オウカダミョウジン)(大桑神社)	結城市小森1	○	○
④ 高椅大明神(カウチャミョウジン)(高椅神社)	小山市高椅702	○	○
⑤ 八幡宮(ハチマングウ)(八幡神社)	小山市梁1277	○	○
⑥ 大神宮(オウジングウ)(神明宮)	小山市中河原202	○	○
⑦ 鷲宮大明神(シノミヤダミョウジン)(日鷲神社)	小山市萱橋428	○	○
⑧ 健田神社跡地(タケダジンジャアチ)	結城市結城(健田)		○
健田神社跡(タケダジンジャアチ)(道了大薩埵)	結城市結城(鉄砲宿)3010付近		
健田神社(タケダジンジャ)(健田須賀神社)	結城市結城(浦町)195		
⑨ 神明神社(シメイジンジャ)	結城市結城(神明町)1858		○

